みんなの広場

毎月五日は「防犯強化日」です

この世の中からすべての犯罪をなくしたい。これは県民みんなの心からの願いです。この願いを結集させて町でも、部落でも、そして家庭でも一せいに防犯につとめる日、これが毎月五日に行なう「防犯強化日」運動です。

運動の中心

こんどの運動は、市民のみなさん自身が運動の推進者になるのです。といって格別むつかしいことではありません。各家庭や職場でふだんの生活や仕事と結びついた防犯活動を行なえばよいのです。

もちろんこんどの運動でも警察や防犯団体は従来以上に力を注ぐことは当然です。

重点目標

この運動の目標は、すべての犯罪をなくすることですが、現在一ばん問題になっているどろぼうと暴力犯罪を、最も重要な目標にしています。

防犯の心得

＝家庭では＝

○戸締りの方法はよいか点検し、欠陥があれば改善する。
○古い鍵や合かぎのきく鍵は完全なものにとりかえる。
○自転車やバイクモーターは早く車籍登録をする。
○自転車や自動車の盗難防止に気をつけ必ず施錠する。
○大金は置かない。金庫は人目につかないところへ。
○わが家から犯罪者を出さないよう、家族がみんなで注意し合う
○青少年に有害な書籍類は早くしまつする。

＝職場では＝

○事務所荒しなどを防ぐため戸締りを厳重にする、机の引出しなどに現金を置かない。
○防犯ベル非常ベルなどの防犯器具を充実する。
○車輌の盗難防止に注意し、終業後は必ず車庫に入れる。
○金庫やロッカーの置場所を安全なところに移す。
○多額現金の出し入れや、輸送は必ず二人以上でする。

＝町内会などでは＝

○隣近所同志で盗難防止抑売撃退などについて協力し合う。
○町内の暗い場所に防犯灯をつける。

あらまし以上のとおりですが、何もむつかしいことではありません。町でも、村でも、職場でも毎日の暮しのなかであなたも、わたしも力をあわせて防犯の方法を考えましょう。

毎月 20日は 交通安全日

あなたの車（オートバイ 自動車）がラジオ・テレビの雑音に

＝防止器を取り付けよう＝

ラジオ、テレビにはいる雑音は家庭用の電気器具からもはいりますが、最近大きく問題となっているのは、オートバイ、自動車などからはいる雑音です。

それはテレビアンテナの近くを車がとおるとテレビの画面がチラツイたり流れたりします。

この原因は、車の点火栓からの火花放電によるものです。

その雑音をなくするためには、車へ雑音防止器を取り付けるとよまります。防止器は、近くの自動車整備工場で極く簡単に取り付けができます。自分は知らなくても他人に迷惑をかけないよう、すべての車に雑音防止器を取り付けていただきたいものです。

雑音防止器は一台あたり一二〇円から六〇〇円程度ですが車の機種によってちがいます。

夜るは静かにラジオ、テレビの音を小さくしてききましょう

!! 見ようよう !!

固定資産の課税台帳を

＝三月一日から二十日まで＝

三月一日から二十日までは、固定資産税の課税台帳（名寄帳）の縦覧期間です。

この期間に台帳を見にこられる方は、まい年わずかな人たちです。

ところで売買などによる異動についての台帳整理は、正確を期していますが、ときにはまちがいを生じ課税にも誤りをおかすことになります。誤課税については間違いを発見したとき直ちに過誤納税金を還付します。しかし、発見が遅れ五カ年を過ぎると、時効となり還付できないことになります。

このようなことになりますと、ご迷惑をおかけしますので、縦覧期間中ぜひ各人の所有資産と課税台帳を照合してください。

県・市民税の申告は 3月20日までに

歓迎分割払

電話下さい、各社新製品取揃へ参上いたします。

眼鏡処方箋調整

特約店 ニューコーズ イチリエン セシリオマルマ

森本時計店

野中 5 区

TEL2520 有線 172—7

みんなの広場

舟入川の水止め

三月一日～九日

恒例の川干は、三月一日午前四時三十分から九日午前十時三十分まで実施されます。

なお天候や、工事のはかどりの都合により、山田堰の水止めの期間は繰りのべになることがあります。

火元にご用心

川止めの期間にもし火災が発生すると消火活動が十分できず、大火になる恐れがあります。火もとには十分心をくばってください。

バケツなど、水の入いるものにはいつも水をためておく心づかいも大切です。

南国人物史 (1)

西村左平次と垣内義輝

明治維新のはじめ日本政府に対する一大脅威の事件は堺事件であります。明治元年二月十五日フランス兵は突如我が国のおきてを破って堺に上陸し、住民に脅威を与え横暴を極めました。警備に当っていた土佐藩士がこれを制止しましたが聞きいれず、かつ小隊旗を奪って船に逃れようとしたので軍監の司令を請う暇もなく、射撃して仏人十三人を射殺しました。

これが大きな国際問題となり当時わが国は江戸城明け渡しや内外の事情は多端を極め世情騒然として国力が弱く、この事件の解決策として仏国の要求を涙をのんで入れ、これに関係した土佐藩士二十人を同年二月二十三日堺の妙国寺において切腹せしめ斬罪処分にしました、その凄惨な状況を見た立会の仏国公使たちは十二人目より中止を申し出て九名は助命されました、これが有名な堺事件であります。

この中に南国市稲生立石の住人で、八番隊長西村左平次と隊士南国市三畠の住人垣内義輝の二人があります。西村は「風に散る露となる身はいとはねど、心にかかる国の行く末」と辞世の歌を残し二十四才を一期として壮烈な割腹をなし仏人を驚かしました。垣内は助命され、同じく助命の志士土居晟義（高知市中島町出身）と十一烈士の靖国神社合祠を明治政府に請願しその他社会の為に尽しました。

観光団を募集

レジャーに利用を

国鉄後免駅では、ことしの観光団体の募集計画をつぎのとおりたてています。個人、グループ、会社などのレクレーションとしてご利用をお待ちしています。

なお、そのほか小グループで単独旅行のご計画のあるときはご相談に応じますので、ご連絡ください。

詳細は国鉄後免駅（TEL二六七四）にお問合せください。

月別	行先	日程	金額
4 月	鳴門観光	日帰り	1,800
〃	足摺・竜串観光	1泊2日	3,300
5 月	〃	〃	〃
7 月	ナイター観戦と宝塚巡り	1泊2日	6,000
〃	（阪急—南海W戦 宝塚観劇）		
8 月	阿波踊り見物	半泊	1,500
9 月	西日光道後観光	1泊2日	5,000
10 月	白浜観光巡りと南紀観光	3泊4日	8,000
11 月	寒霞渓巡り	日帰り	2,100

（金額は多少の変更があると思われますが、ご参考までにと思い一応決定したものです。）

国鉄後免駅

正解は八通

松井さんらに八百二十五円

一月号に寄った茶の間クイズの応募数は、五百十六通でした。

正解は八通で一字違いが百二十五通の多数を数えました。

解答で一番の難関はヨコ④のかぎで「ツヤ」を「アヤ」としての一字違いとなったものが八十通あり、「ツヤ」と解いた九十五通のなかでヨコ⑫の「トオチ」を「トウチ」、「トヲチ」とまたヨコ⑧の「カン」を「コン」「アン」「ペン」「ハン」「イン」などでの一字違いが四十五通となっています。

茶の間クイズ

シ	キ	■	■	■	■	■	■	■
メ	■	■	ツ	■	■	■	■	■
キ	モ	■	カ	タ	■	■	■	■
リ	■	■	イ	■	■	■	■	■
■	カ	ン	ト	■	カ	ラ	ス	ス
ク	■	■	■	オ	ケ	■	■	キ
チ	コ	ク	■	■	ク	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■	■	■
シ	■	■	オ	シ	ウ	リ	■	■
■	■	■	ヤ	■	バ	■	■	■
■	■	■	カ	ン	ザ	シ	■	■
■	■	■	タ	■	ク	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■	■	■

なお、締切日当日速達で出された島井潔さんの一通は、見事正解文に合致しました。

賞金は等分し一通について六百二十五円を贈呈します。

正解者

松井清喜（立田）、鍋島信（久礼田）、橋田典子（里改田）、橋田友之（里改田）、橋田清恵（里改田）、溝淵紀夫（大埇）、島井潔（左右山）、森国正覚（里改田）

× × × × × ×

工事の指名願をいたしましょう。

市のおこなう建築、土木などの請負工事をされたいものは、指名の参加願いを出さなければなりません。

これは、工事をおこなわせるときは、法に規定する資格のないものは参加できなくなっているためのものです。

これによって、市では建設業者の資格基準にあわせて工事の指名をおねがいすることになります。

しめきりは三月二十日です。

くわしいことは、総務課管理係（電話2111有線四—一）へ